生活単元学習 指導案

日　　時　　令和〇年〇月〇日（〇）
５校時
学 校 名　　小学校
対　　象　　第５，６学年
会　　場　　プレイルーム
授 業 者　　〇〇　〇〇

１　単元名　　「カフェを開こう」～〇小ハッピー元気カフェ～

２　単元の目標

○　お客さんが気持ちよく過ごすための仕事について理解することができる。【知識及び技能】
○　お客さんが気持ちよく過ごすために必要な物を作ったり、役割を務めたりすることができる。【思考力・判断力・表現力等】
○　自分が決めためあての達成に向けて、意欲的に役割を務めようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　地域の店へのインタビューを通して、店の仕事について知ることができている。 ②　お客さんが気持ちよく過ごすための仕事について知り、自分の仕事をするために必要な技能を身に付けている。	①　お客さんが気持ちよく過ごすために必要な物を考え、工夫して作ることができている。 ②　お客さんが気持ちよく過ごすための工夫を考え、役割を務めることができる。	①　自分の役割を自覚し、より良い活動に向けて意欲的に取り組んでいる。 ②　カフェを開き、自分が決めためあての達成に向けて取り組もうとしている。

４　指導観

(1) 単元観（題材観）

小学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章各教科　第１節 国語[第１学年及び第２学年]

２　内容[思考力、判断力、表現力等]
Ａ　話すこと・聞くこと
(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるように指導する。
ア　身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
ウ　伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。
オ　互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

小学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章各教科　第７節 図工[第１学年及び第２学年]

> ２　内容
> Ａ　表現
> (2)　表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
> イ　絵や立体、工作に表す活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこ

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年４月告示）第７章自立活動　第２節内容

> ３　人間関係の形成
> (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。
> ６　コミュニケーション
> (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

を受けて設定した。

自立と社会参加に向けた教育の充実を目指し、人の役に立つことや、役割を務めることへの資質・能力を育む観点から、本単元を設定した。

(2) 児童観

本単元では、第５学年の児童７名と第６学年の児童７名の合計 14 名で行う。特定の教員であれば日常会話がスムーズにできる児童や、提示した選択肢から選んで答えることができる児童がいる。取り組みたい内容であれば、「私もやってみる。」「ぼくは、○○のようにやってみたい。」など意欲的な発言で教室が盛り上がることも多い。相手がどう感じるかについて支援を必要とすることもあるが、自分の思いや考えを伸び伸びと発言することができる。

これまで、宿泊体験学習や特別活動で高学年としてリーダーなどの経験を積み、「できる」という実感を積み重ねてきた。また、自立に向けて、日々の生活や学習の中で準備や片付けなどやれることを見付けて自分たちで取り組んできた。意欲的に取り組める点を尊重して、価値を認めながら授業を進めてきた。

(3) 教材観

カフェを自分たちで開く活動の中で、相手を意識しておもてなしをすることによって将来の就労に生きる有意義な経験と考えた。単元の終わりまで継続して友達や先生、地域の方、保護者を招くことで、最後まで取り組みたいという意欲につなげる。友達と協力して活動することの楽しさを味わったり、自分で決めた役割を意欲的に務めたりすることで、自己肯定感を高めることをねらいとした。また、お客さんから「ハッピーカード」(アンケート)に感想を書いてもらい、学習の振り返りの時間で達成感を味わう場を設定した。他者と関わる力を伸ばし、人の役に立つことの喜びを実感できるように指導を重ねていく。

５　年間指導計画における位置付け

	単元名	時数
第１学期	調理、買い物	10 時間
	みんなで遊ぼう	５時間
第２学期	カフェを開こう	12 時間
	みんなで遊ぼう	５時間
第３学期	カフェを開こう（本時）	３時間
	みんなで遊ぼう	５時間

６　単元の指導計画と評価計画（全 15 時間）

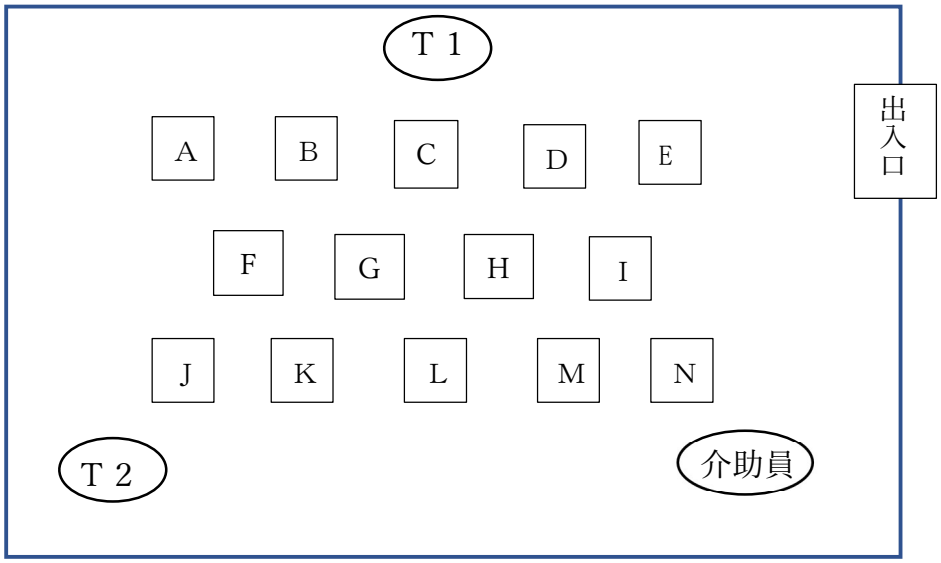
時	目標	○学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）		
			ア	イ	ウ
第１時	店について知っていることを話し合うことができる。	○　それぞれが店に行った体験を振り返り、話し合う。 ・　○○の店（地域の障害がある人が仕事をしているカレー屋）について知る。	① （発言） （行動観察）		
第２時	店の人にインタビューをして聞いてみたいことについて話し合うことができる。	○　実際に店で仕事をしている人に聞いてみたいことを話し合う。 ・　話し合ったことをインタビューカードに書く。	① （発言） （行動観察） （カード）		
第３時	店の人にインタビューをすることができる。	○　店に行き実際の雰囲気を知ったり、お店の人にインタビューをしたりする。 ・　お客さんが気持ちよく過ごすための仕事と役割を知る。	① （発言） （行動観察）		
第４時	インタビューをして分かったことを話し合い、まとめることができる。	○　自分たちにもできそうな課題を見付ける。 ・　分かったことを話し合い、模造紙にまとめる。	① （発言） （制作物）		
第５時	店に必要な物を作ることができる。	○　店に必要な物を考え工夫して作る。 ・　看板やメニューなど分担して作る。		① （発言） （行動観察） （制作物）	

第６時 ～ 第８時	自分の役割を果たすことができる。	○　店員と客、それぞれの役割になって活動する。 ・　感想を伝えあい、より良くする方法について振り返りをする。			① （発言） （行動観察）
第９時	カフェを開き、自分の役割を果たすことができる。	○　カフェを開いて友達や先生、地域の方を招待する。 ・　開店前にそれぞれの役割や準備の仕方を確認する。 ・　自分の役割を果たす。			① （発言） （行動観察）
第 10 時 ～ 第 11 時	新たなめあての達成に向けて取り組む。	○　振り返りを行い、新たなめあての達成に向けて準備に取り組む。 ・　新たなめあてを話し合い、達成に向けて取り組む。		② （発言） （行動観察）	② （発言） （行動観察）
第 12 時 （本時）	カフェを開き、自分が決めためあての達成に向けて取り組むことができる。	○　友達や先生方を招待する。 ・　めあての達成に向けて仕事に取り組もうとする。			② （発言） （行動観察）
第 13 時 ～ 第 14 時	新たなめあての達成に向けて取り組む。	○　振り返りを行い、新たなめあての達成に向けて準備に取り組む。	② （発言） （行動観察）	② （発言） （行動観察）	
第 15 時	カフェを開き、自分が決めためあての達成に向けて取り組むことができる。	○　おうちの人を招待する。 ・　開店前に新しいめあてを振り返る。 ・　「ハッピーカード」を見ながら、できたことや頑張ったことを振り返る。			② （発言） （行動観察）

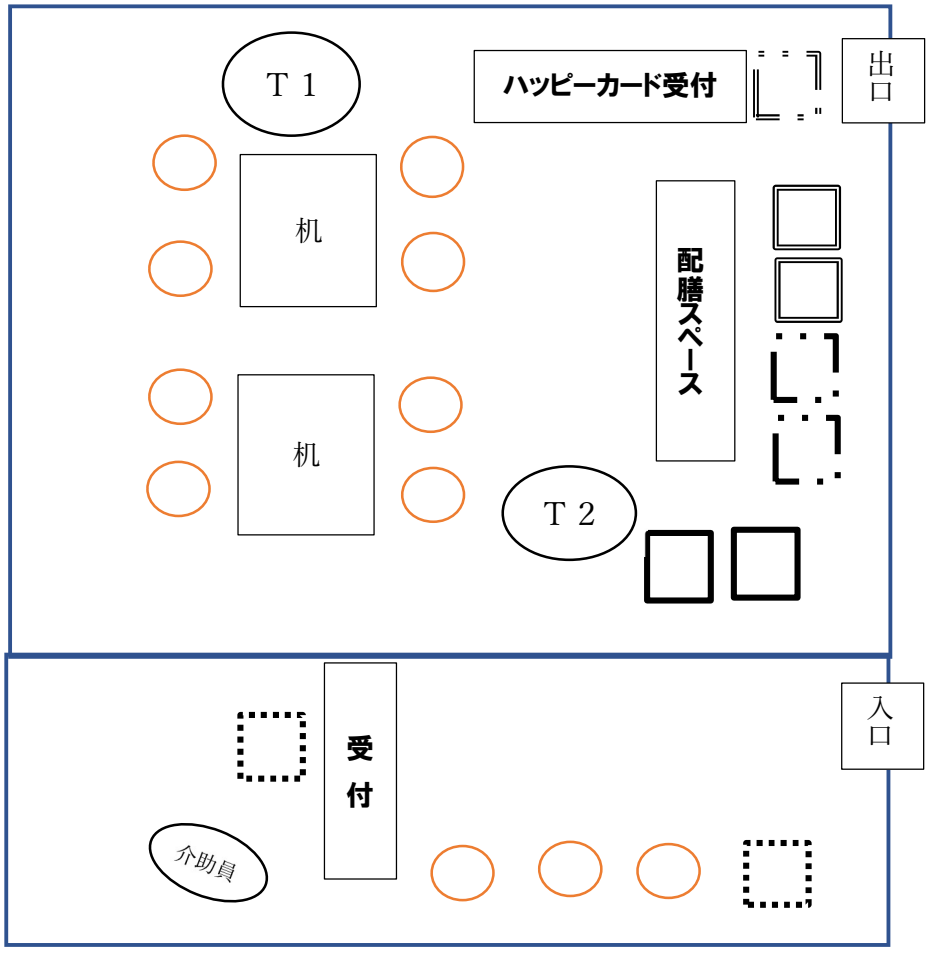
7　配置図

【導入時】

【まとめ時】



【展開時】



受付係　案内係　オーダー係　配膳係

アンケート係　客

8　指導に当たって

(1)　児童が主体的に学習に取り組むための工夫

・　店を開いてお客さんをもてなすという意識がもてるために、地域の店に出かけ、店の工夫を知り、必要なことや物を準備する。

・　より日常生活のお店に近づけ食べ物を扱う雰囲気作りをする。

・　営業中の音楽にも配慮して、オーダーストップの時の音楽を決めて、教員が声をかけなくても児童自らが動けるようにする。

(2)　児童の一人一人の特性や興味に合わせるための手立て

・　お客さんとのコミュニケーションの台本や、開店に必要な準備の仕方、机の上に並べる物の写真などの支援をそれぞれの児童の特性に応じたものにする。

・　児童の興味・関心を中心にして役割を選ぶことで、それぞれの興味に応じた活動ができるようにする。

9　本時（全 15 時間中の第 15 時）

(1)　本時の目標

・　カフェを開き、自分が決めためあての達成に向けて取り組むことができる。

(2)　本時の展開

時間	○　学習内容　・　学習活動	・　指導上の留意点　配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (５分)	○　始業のあいさつをする。 ○　本時のめあてと学習の流れを知る。	・　学習の流れを板書し、学習に見通しがもてるようにする。（Ｔ１）	
	カフェをひらいて、かかりのめあてができるように取り組もう！		
	○　係ごとのめあてを確認する。	・　ホワイトボードを使い、係ごとの発表を行う。（Ｔ１）	
展開 (30 分)	【展開１】 ○　自分の仕事の位置につき、準備をする。	・　準備する場所やものを視覚支援する。できるだけ様子を見守り、必要に応じて個別支援を行う。（Ｔ１、Ｔ２、介助員）	
	【展開２】 ○　カフェを開き、前半の役割を果たす。 ・　受付、音楽係 ・　案内係 ・　オーダー係	・　児童の特性に応じた役割にし、できる限り児童の自主性を見守る。状況に応じて、個別支援する。（Ｔ１、Ｔ２、介助員） ・　タイマーで活動時間を可視化	ウー② （発言） （行動観察）

	・　配膳係 ・　アンケート係 （ハッピーカードを受け取り黒板に貼る。） 【展開３】 ○　片付けをする。 ・　分担している場所の片付け ・　自分の椅子を戻す	し、見通しがもてるようにする。（Ｔ１） ・　活動中に、できていることや良かったことをその場で称賛し、形成的評価をしていく。（Ｔ１、Ｔ２、介助員） ・　全員が片付けに取り組めるように役割分担をする。 （Ｔ１、Ｔ２、介助員）	
まとめ （10 分）	○　学習の振り返りをする。 ○　終業のあいさつをする。	・　「ハッピーカード」を共有し、よいところを伝える。（Ｔ１） ・　役割ごとにホワイトボードを使って話し合えるようにする。（Ｔ１、Ｔ２、介助員）	

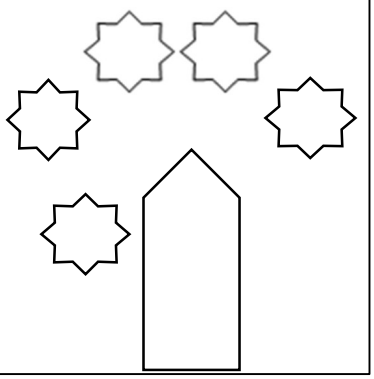
(3)　板書計画

カフェをひらいて、かかりのめあてができるように　とりくもう！

1．　めあて
2．　じゅんび
3．　カフェをひらこう
4．　かたづけ
5．　ふりかえり

児童のめあてと場の設定

ハッピーの木



(4)　授業観察の視点

- 児童が主体的に取り組めるために事前の体験学習は効果があったか。
- 児童の興味・関心を中心に役割を決めたことは、主体的行動につながったか。
- 児童が主体的に活動できるために、各児童用の台本、絵カード、写真、音楽を取り入れた点は適切であったか。